



第5次豊川市総合計画の施策に係る自己評価シート

**政策3 【建設・整備】**

基本目標： 住み心地よいまちの空間が生み出されています

ゆとりある住環境の形成と、都市機能の充実を図り、バリアフリーなど快適で魅力ある都市空間を創出する必要があります。  
都市の基盤となる土地区画整理や道路整備を計画的に進め、公共交通の利便性の向上を図るとともに、公園・緑地、河川環境など憩いの空間整備を進めます。

施策

- ① 住環境の整備・・・・・・・・・・P. 1
- ② 公共交通の利便性向上・・・・・・P. 2
- ③ 道路交通網の充実・・・・・・・・・・P. 3
- ④ 緑のまちづくりの推進・・・・・・P. 4

第5次豊川市総合計画の施策に係る自己評価シート(第6次豊川市総合計画策定関係)

1 基本目標と施策

政策3	【建設・整備】
基本目標	住み心地よいまちの空間が生み出されています

施策 ①	住環境の整備
将来目標	良好な住環境が整備され、快適な住宅市街地が形成されています。

担当課等名	建設部区画整理課
	建設部一宮地区建設課
	建設部建築課

2 目標指標

〔指標①〕 土地区画整理事業地区内の市街化率

〔目標〕 良好な住環境整備

担当課: 区画整理課

〔指標の説明〕

評価を行う時期	計画期間前の数値	計画期間中の数値					25年度の達成度
	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	
評価数値	H17.3.31値	H19.3.31値	H21.3.31値	H23.3.31値	H25.3.31値	H27.3.31値	目標を超えた
	41.9%	47.0%	52.0%	56.6%	62.8%	61%	

土地区画整理事業区域内(豊川駅東土地区画整理事業、豊川西部土地区画整理事業)の土地が、建築物の敷地などに利用されている状況の割合を見る指標です。3月31日現在の土地区画整理事業区域内の土地のうち、建築物の敷地などに利用されている土地の割合です。最終の目標値について、61%としています。

〔指標②〕 市営住宅の改築率

〔目標〕 良好な住環境整備

担当課: 建築課

〔指標の説明〕

評価を行う時期	計画期間前の数値	計画期間中の数値					25年度の達成度
	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	
評価数値(公下)	H17.3.31値	H19.3.31値	H21.3.31値	H23.3.31値	H25.3.31値	H27.3.31値	目標を超えた
	85.1%	85.1%	85.1%	85.6%	86.6%	92.9%	

市営住宅の整備状況を見る指標です。最終の目標値について、92.9%としています。

3 将来目標を実現するための事業

単位:千円

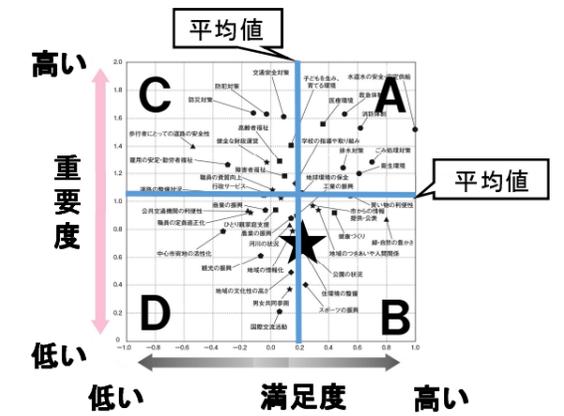
No.	各種事業	事業概要(主な具体的取組み)	事業費(実績)					計	担当課	事業区分
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度			
1	豊川駅東土地区画整理事業特別会計繰出金	豊川駅東地区53.7haの区画整理事業	656,957	557,156	513,699	419,636	528,018	2,675,466	区画整理課	計画事業
2	豊川西部土地区画整理事業特別会計繰出金	豊川西部地区90.5haの区画整理事業	478,699	355,783	300,693	128,000	134,000	1,397,175	区画整理課	計画事業
3	一宮大木土地区画整理事業支援事業	一宮大木土地区画整理組合へ、一般会計からの支援	93,000	316,380	397,485	200,000	100,000	1,106,865	一宮地区建設課	計画事業
4	市営住宅給湯器設置事業	給湯器設置、シャワー取付	10,280	8,153	4,984			23,417	建築課	計画事業
5	市営住宅外壁改修事業	外壁補修工事、及び外壁塗装工事	27,543	34,405	31,742	69,000	52,000	214,690	建築課	計画事業
6	市営住宅埋設ガス管取替事業	埋設ガス管の取替		0	4,995	6,000	13,746	24,741	建築課	計画事業
計			1,266,479	1,271,877	1,253,598	822,636	827,764	5,442,354		

4 市民が感じている満足度・重要度

(平成25年度市民意識調査結果)

**B ゾーン**  
〔満足度〕 平均値より高い  
〔重要度〕 平均値より低い

重要性の認識が低いものの、取り組みは満足されていると考えられ、今後も満足度の水準を下げることなく着実な取り組みが求められる。



5 将来目標が実現しているか(担当課による自己評価)

将来目標の達成度の評価	
目標指標の達成度の視点	①区画整理地区内の市街化率は目標値を超えており、良好な住環境の整備が進んでいると評価する。(区画整理課) ②市営住宅の改築率は目標値を超えており、良好な住環境の整備が進んでいると評価する。(建築課)
事業の進捗状況や成果等の視点	③豊川駅東地区及び豊川西部地区の区画整理事業については、事業費ペースで毎年3~4%の進捗率となっており、整備事業の工程計画に沿って進んでいると評価する。(区画整理課) ④給湯器設置等の利便性向上事業は平成25年度で完了し、大規模な営繕事業も計画的に施行しているので、居住者の住環境向上に寄与していると評価する。(建築課)

将来目標を実現する上で課題と捉えている点

- ⑤豊川駅東地区については、県施行である都市計画道路姫街道線のアンダー化事業の整備計画が未定であるため、周辺箇所の整備計画に苦慮している。また、住宅密集地等の交渉に時間を要する箇所が多く、事業進捗への影響が危惧される。事業費については、過年度実績及び残事業の精査より、移転補償費の不足が懸念される。(区画整理課)
- ⑥豊川西部地区については、事業の進捗を図るための保留地処分による財源確保が、重要な課題である。また補償交渉に時間を要する箇所があり、事業進捗への影響が危惧される。(区画整理課)
- ⑦一宮大木土地区画整理事業支援事業については、保留地処分および清算金における徴収・交付が円滑に進めることができるかが課題として挙げられる。(一宮地区建設課)

⑧建物全体を網羅する大規模営繕事業を年間1棟ずつ施行しているため、全ての市営住宅の事業完了までに相当な期間を要する。(建築課)

上記課題解決のための方向性

- ⑨豊川駅東地区については、早期に都市計画道路姫街道線のアンダー化事業の整備計画の進捗を促し、合わせて周辺箇所の整備を行う。また、住宅密集地等に関しては、地元説明会を実施し、集団移転を促進するなど効率の良い移転及び工事を行い、早期完了を目指す。事業費については、資金計画の見直しを行い、事業計画の変更を行う。(区画整理課)
- ⑩豊川西部地区については、大型保留地の処分等、計画的な保留地処分に努めて販売促進を図れるようにする。また、平成28年度までに都市計画道路を整備し、地区の利便性の向上を図る。(区画整理課)
- ⑪一宮大木土地区画整理事業支援事業については、積極的な宣伝・広報活動等による保留地処分促進を図り、組合財源確保に努めるよう指導する。清算金については、組合定款の見直し(徴収期間の延伸)等を検討し、徴収・交付業務を円滑に推進できるよう指導する。(一宮地区建設課)
- ⑫更なる財源確保を図り、外壁改修や埋設ガス管取替事業など大規模な事業の進捗速度を上げるとともに、併せて各戸の適時なメンテナンスを心がけ住みやすい環境を整備していく。(建築課)

第5次豊川市総合計画の施策に係る自己評価シート(第6次豊川市総合計画策定関係)

1 基本目標と施策

政策3	【建設・整備】
基本目標	住み心地よいまちの空間が生み出されています
施策 ②	公共交通の利便性向上
将来目標	多くの市民が公共交通機関を利用しています。

担当部課等名	市民部人権交通防犯課
	建設部都市計画課
	建設部道路維持課
	建設部道路建設課

2 目標指標

〔指標①〕「公共交通機関の利便性」市民満足度

〔目標〕 多くの市民が利用する公共交通機関

担当課: 人権交通防犯課

〔指標の説明〕

評価を行う時期	計画期間前の数値	計画期間中の数値					25年度の達成度
	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	
評価数値	目標値				45%	47%	50%
	実績値	41.0%	38.0%	42.9%	39.6%	43.4%	目標に至らず

3 将来目標を実現するための事業

単位:千円

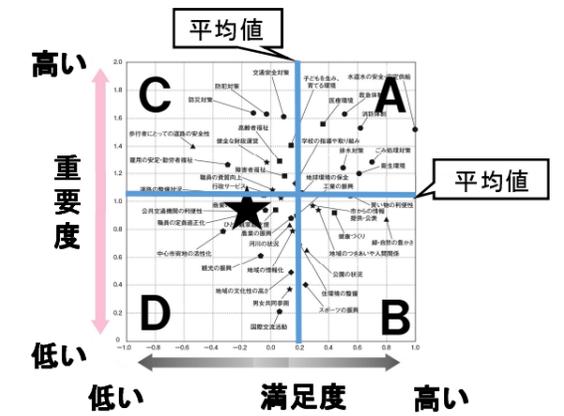
No.	各種事業	事業概要(主な具体的取組み)	事業費(実績)			事業費(計画)			計	担当課	事業区分
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度				
1	公共交通機関等利用促進事業	市全域におけるバスを中心とした公共交通施策の検討・実施	124,213	90,527	85,342	96,970	98,094	495,146	人権交通防犯課	計画事業	
2	豊川北部線バス運行確保支援事業	豊川北部線バスの運行経費の支援	18,138					18,138	人権交通防犯課	計画事業	
3	コミュニティバス運行事業	音羽地区コミュニティバスの運行経費負担金	8,934					8,934	人権交通防犯課	計画事業	
4	福祉乗合タクシー運行事業	御津地区コミュニティバスの運行経費負担金	4,361					4,361	人権交通防犯課	計画事業	
5	名鉄八幡駅周辺整備事業	八幡駅へのエレベーター設置などによるバリアフリー化の実施		186,258				186,258	都市計画課	計画事業	
6	バリアフリー推進事業	バリアフリー整備の実施			11,919	17,750	20,896	50,565	都市計画課 道路建設課 道路維持課	計画事業	
7	JR愛知御津駅周辺まちづくり検討事業	JR愛知御津駅周辺整備に向けた事前検討				10,000		10,000	都市計画課	計画事業	
								0			
								0			
								0			
								0			
								0			
								0			
								0			
								0			
								0			
								0			
計			155,646	276,785	97,261	124,720	118,990	773,402			

4 市民が感じている満足度・重要度

(平成25年度市民意識調査結果)

**D ゾーン**  
〔満足度〕 平均値より低い  
〔重要度〕 平均値より低い

重要性の認識が低く、取り組みに対する満足度も低いと考えられ、施策の見直しや施策の取り組みの方向性などを十分検討する必要があります。



5 将来目標が実現しているか(担当課による自己評価)

将来目標の達成度の評価	
目標指標の達成度の視点	①目標は達成していないが、計画期間前の数値より、公共交通の利便性に対する満足度は向上しており、事業の一定の効果は挙げていると考え、将来目標に近づいていると評価する。
事業の進捗状況や成果等の視点	②本市は旧4町との合併により、市域は広がったが、市内のバス路線については、合併前の状態で維持されており、本格的な高齢化社会への対応や環境にやさしい交通の実現など、市民ニーズに対応した持続的かつ効率的な公共交通へ見直しを図るため、市域全体の公共交通の基本的なあり方を定める「豊川市地域公共交通総合連携計画」を平成23年3月に策定した。この計画に基づき、合併前のバス路線体系を再編し、平成23年11月より、市内全域において、コミュニティバス路線の運行を開始したことが、市民満足度の向上と、公共交通の利便性の向上に寄与したと評価する。(人権交通防犯課) ③更には、24年10月に、御油地区において路線を新設、25年5月には新市民病院の開院に伴う路線の見直しを行い、前年度と比較して約1割の利用者が増加するなど、適切な路線改善がなされていると評価できる。(人権交通防犯課) ④道路のバリアフリー整備を予定どおりに実施することができ、目標には至らなかったが満足度の向上に寄与したと評価する。(都市計画課・道路維持課・道路建設課)

将来目標を実現する上で課題と捉えている点	
⑤	コミュニティバス利用者は着実に伸びてはいるものの、豊川市地域公共交通総合連携計画に掲げた路線利用者数の目標値には到達していない。コミュニティバス利用者の増加は、運賃収入の増加、運行経費の縮減につながり、現状の路線体系を今後も維持、または拡充するための大きな要素であり、課題と考えている。(人権交通防犯課)
⑥	豊川市バリアフリー基本構想に位置付けられた2地区(国府駅周辺、八幡駅周辺)において、駅・道路のバリアフリー化が進捗しているが、未整備箇所が残っているため、整備進捗が必要である。また、その他の駅についても、利便性の低い駅が見られることから、周辺都市整備の進捗に併せた利便性の向上が必要である。(都市計画課)
⑦	工事の目的が地元町内要望ではなく、豊川市バリアフリー基本構想に基づく事業であるため、一部地元の理解を得られないケースがある。(道路建設課)
上記課題解決のための方向性	
⑧	ベンチの設置などバス停の待合環境整備や豊鉄バスとの共通1日フリーきっぷなど新たな券種を導入することで利用者の利便性を向上させるとともに、イベントなど利用促進策や広報、HPなどでの啓発活動によりコミュニティバス利用者の増加に努めることが課題の解決の方向性とする。(人権交通防犯課)
⑨	また、同時に、コミュニティバス路線の利用状況を検証し、利用者が利用しやすいバス路線網が形成できるよう、地域公共交通会議において議論し、必要に応じて路線の改善を実施する。(人権交通防犯課)
⑩	豊川市バリアフリー基本構想に位置付けられた2地区(国府駅周辺、八幡駅周辺)の更なる整備進捗を図るため、計画的な事業実施により各駅までのアクセス性を向上させる。また、周辺都市計画道路の整備進捗が見られるJR愛知御津駅について駅前広場、自由通路整備等の検討を進める。(都市計画課)
⑪	工事説明会や立会において、丁寧に工事概要及び事業目的を説明し、本事業の必要性について市民の理解を得る。(道路建設課)

第5次豊川市総合計画の施策に係る自己評価シート(第6次豊川市総合計画策定関係)

1 基本目標と施策

政策3	【建設・整備】
基本目標	住み心地よいまちの空間が生み出されています

施策 ③	道路交通網の充実
将来目標	道路交通の円滑化が図られ、安心して通行できる道路環境となっています。

担当 部課 等名	建設部道路建設課
	建設部道路維持課
	建設部都市計画課

2 目標指標

〔指標①〕「道路の整備状況」市民満足度

〔目標〕 道路交通の円滑化

担当課: 道路建設課

〔指標の説明〕

評価を行う時期	計画期間 前の数値	計画期間中の数値					25年度の 達成度
	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	
評価数値	目標値				54%	58%	目標に 至らず
	実績値	51.9%	50.2%	49.2%	51.4%	49.7%	

〔指標②〕 市道のアダプトプログラム個人・団体登録数

〔目標〕 安心して通行できる道路環境

担当課: 道路維持課

〔指標の説明〕

評価を行う時期	計画期間 前の数値	計画期間中の数値					25年度の 達成度
	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	
評価数値	目標値	H17.3.31値	H19.3.31値	H21.3.31値	H23.3.31値	H25.3.31値	目標を 超えた
	実績値	6件	9件	51件	75件	94件	

3 将来目標を実現するための事業

単位:千円

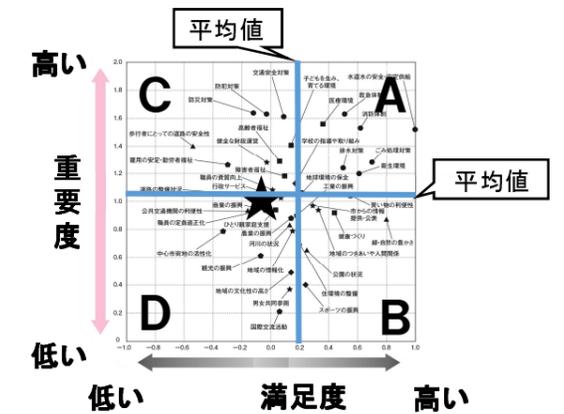
No.	各種事業	事業概要(主な具体的取組み)	事業費(実績)					事業費(計画)					計	担当課	事業区分
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度			
1	御油松並木迂回路整備事業	御油松並木の保護に向けた迂回路の拡幅改良工事	42,064					42,064	道路建設課	計画事業					
2	市内道路整備事業	市内全域の道路拡幅改良の整備	235,170	170,828	306,106	284,698	320,000	1,316,802	道路建設課	計画事業					
3	市道国府財賀線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=784m W=7.8m	25,686	19,210	19,080	25,000	25,000	113,976	道路建設課	計画事業					
4	市道野口平尾線舗装改良事業	舗装改良工事	21,126	17,416				38,542	道路建設課	計画事業					
5	市道上宿樽井線舗装改良事業	舗装改良工事	13,432	9,436				22,868	道路建設課	計画事業					
6	市道伊奈美和通線舗装改良事業	舗装改良工事		17,441	13,541			30,982	道路建設課	計画事業					
7	市道木戸長草線舗装改良事業	舗装改良工事	8,635					8,635	道路建設課	計画事業					
8	音羽支所前交差点改良事業	音羽支所前交差点改良工事	2,120					2,120	道路建設課	計画事業					
9	都市計画道路蔵子線整備事業(新市民病院周辺)	都市計画道路蔵子線の整備	272,366	72,014				344,380	道路建設課	計画事業					
10	都市計画道路上宿樽井線(市田工区)整備事業	道路拡幅改良工事 L=581m W=16.0m	30,437	72,296	71,947	22,032	50,389	247,101	道路建設課	計画事業					
11	都市計画道路御津為当線整備事業	道路拡幅改良工事 L=192m W=16.0m	43,794	65,319	0	3,300	30,777	143,190	道路建設課	計画事業					
12	都市計画道路松本入浜線整備事業	道路拡幅改良工事 L=140m W=16.0m	1,112	0	3,150	120,875	33,000	158,137	道路建設課	計画事業					
13	市内舗装改良事業	1級市道等幹線道路の舗装改良工事			7,044	50,000	50,000	107,044	道路建設課	計画事業					
14	市道野畔京次線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=321m W=6.0m					12,000	12,000	道路建設課	計画事業					
15	市道篠田足山田線改良事業	道路改良工事 L=1,100m, W=7.5m~10.0m	8,400	6,773	50,000	60,000	125,173	170,909	道路建設課	計画事業					
16	国道151号一宮バイパス関連整備事業	道路拡幅改良工事 L=1,190m, W=4.0~6.0m	1,995	8,400	70,514	90,000	170,909	170,909	道路建設課	計画事業					
17	市道仲荒野口1号線改良事業	道路拡幅改良工事 L=1,030m, W=5.2m			43,093	80,406		123,499	道路建設課	計画事業					
18	豊川大木地区周辺道路整備事業	道路改良工事 L=450m, 道路拡幅改良工事 L=350m			23,342	40,954	44,000	108,296	道路建設課	計画事業					
19	市道伊奈131号線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=240m W=6.0m					10,000	10,000	道路建設課	計画事業					
20	市道正岡牛久保線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=540m W=6.5~8.0m				28,000	45,400	73,400	道路建設課	計画事業					
21	市道永井田1号線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=340m W=10.0m				5,000	44,750	49,750	道路建設課	計画事業					
22	市道井領田3号線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=170m W=8.0m			4,075	7,350	33,000	44,425	道路建設課	計画事業					
23	市道足山田小金2号線拡幅改良事業	道路拡幅改良工事 L=250m W=6.0m				58,321		58,321	道路建設課	計画事業					
24	名電長沢駅前改良事業	名電長沢駅前の整備				3,700		3,700	道路建設課	計画事業					
25	道路等維持補修事業(工事費関係)	道路舗装、側溝等の維持補修	39,324	33,716	43,412	38,000	40,000	194,452	道路維持課	計画事業					
26	アダプトプログラム事業	美化ボランティアによる清掃活動	345	230	416	457	457	1,905	道路維持課	計画事業					
27	道路台帳統合事業	統合型GISに伴う道路台帳の統合及びデジタル化	10,920	24,675	69,090			104,685	道路維持課	計画事業					
28	施設案内標識整備事業	案内標識による効果的な誘導を行うための整備	12,560	29,241	28,246	16,100		86,147	道路維持課	計画事業					
29	橋りょう長寿命化対策事業	橋りょうの点検、修繕計画の策定、修繕工事、定期点検	8,743	8,163	11,928	89,200	43,000	161,034	道路維持課	計画事業					
30	道路ストック(横断歩道橋・道路照明灯等)点検・補修事業	横断歩道橋、道路照明灯等の道路ストックの点検及び補修				23,550	55,000	78,550	道路維持課	計画事業					
31	都市計画道路ネットワーク化事業	都市計画道路の再構築に係る各種基本方針を策定する。				7,990	18,313	26,303	都市計画課	計画事業					
計			767,834	550,380	659,643	1,025,447	1,005,086	4,008,390							

4 市民が感じている満足度・重要度

(平成25年度市民意識調査結果)

**D ゾーン**  
〔満足度〕 平均値より低い  
〔重要度〕 平均値より低い

重要性の認識が低く、取り組みに対する満足度も低いと考えられ、施策の見直しや施策の取り組みの方向性を十分検討する必要があります。



5 将来目標が実現しているか(担当課による自己評価)

将来目標の達成度の評価	
目標指標の達成度の視点	①道路交通の円滑化を図るため各種事業に取り組んでいるが、「道路の整備状況」市民満足度については、ほぼ横ばいが続いており、目標値には至らなかった。(道路建設課) ②市道のアダプトプログラム個人・団体登録数については目標値をを超えており、取組みが成果を上げていると評価できる。(道路維持課)
事業の進捗状況や成果等の視点	③用地協力が理解が得られた箇所については、拡幅改良事業が着実に進捗しており、安心して通行できる環境への寄与ができたと評価できる。(道路建設課) ④舗装改良事業については、厳しい財源の中、補助事業の活用と事業選定の工夫により事業数の減少を最低限にとどめ、道路交通の円滑化、道路環境の改善に寄与したと評価する。(道路建設課) ⑤道路維持補修事業、施設案内標識整備事業、橋りょう長寿命化対策事業については、予定どおりの事業を実施しており、道路交通の円滑化に対して一定の成果には寄与したと評価する。(道路維持課) ⑥市道のアダプトプログラムについては登録数が増加し、市民による道路の清掃・美化が推進されたと評価する。(道路維持課)

将来目標を実現する上で課題と捉えている点

- ⑦拡幅改良事業は、関係地権者の協力や理解が不可欠であり、事業費も用地・補償等含め大きくなることから、適切な事業選定及び事業説明による理解度向上が課題と考えている。(道路建設課)
- ⑧事業整備箇所周辺住民の方には一定の評価を頂けるが、「道路整備状況」市民満足度を向上させるためには、実施中の事業をより多くの市民に対して周知・PRできるかが課題である。(道路建設課)
- ⑨今後、ますます老朽化していく施設に対して、適切な対策を行っていく必要がある。(道路維持課)
- ⑩市道のアダプトプログラム個人・団体登録数を増加させるため、アダプトプログラムの内容や必要性について、市民による理解をより一層、深めていく必要がある。(道路維持課)
- ⑪本市の都市計画道路は、合併前の1市4町それぞれで計画され、その多くは計画決定から長期間を経過しており、道路予定地には建築制限が継続している状況となっている。都市計画道路網が合併後の豊川市として適正な計画となっているのかを検証し、決定当時からの道路整備状況や社会情勢の変化に対する見直しが必要である。(都市計画課)

上記課題解決のための方向性

- ⑫事業選定段階から、地元要望内容及びニーズ把握をより深く実施するとともに、地権者への影響が小さくなるよう道路構造を検討する。また、現状把握を行い、必要性、投資効果を考慮して進める。(道路建設課)
- ⑬地元説明会において、意見が出やすく、理解されやすいように全体説明・個別説明を行い、事業に対する理解を深めるように努める。(道路建設課)
- ⑭市HP及び広報等を活用した市民へのPRを実施し、整備後の利便性向上等について、情報発信を徹底する。(道路建設課)
- ⑮道路施設に対して通行者の安全性を向上させ、道路交通の円滑化を図るために計画的な施設の維持補修を行い、施設の長寿命化を推進していく必要がある。(道路維持課)
- ⑯アダプトプログラムの内容や必要性について、市民に対してより効果的な情報提供や働きかけを行う。(道路維持課)
- ⑰都市計画道路に係る現状や特性を把握し、道路交通の課題を整理して豊川市の将来道路交通ビジョンを作成する。その後、将来交通量推計を行い、将来都市計画道路網を作成する。また、整備までに更に長期間を要する道路については、建築制限の緩和措置の実施についても検討する。(都市計画課)

第5次豊川市総合計画の施策に係る自己評価シート(第6次豊川市総合計画策定関係)

1 基本目標と施策

政策3	【建設・整備】
基本目標	住み心地よいまちの空間が生み出されています

施策 ④	緑のまちづくりの推進
将来目標	緑地、公園、河川が誰からも愛され、市民の憩いの場となっています。

担当 部課 等名	建設部公園緑地課
	建設部道路維持課

2 目標指標

【指標①】「緑・自然の豊かさ」市民満足度

【目標】誰からも愛される緑地

担当課: 公園緑地課

【指標の説明】

	計画期間 前の数値	計画期間中の数値					25年度の 達成度	
評価を行う時期	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	目標を 超えた	
	平成17年値	平成19年値	平成21年値	平成23年値	平成25年値	平成27年値		
評価数値	目標値	78%					79%	80%
	実績値	75.5%	76.4%	75.0%	78.3%	80.1%		

【指標②】「公園の状況」市民満足度

【目標】誰からも愛される公園

担当課: 公園緑地課

【指標の説明】

	計画期間 前の数値	計画期間中の数値					25年度の 達成度	
評価を行う時期	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	目標に 至らず	
	平成17年値	平成19年値	平成21年値	平成23年値	平成25年値	平成27年値		
評価数値	目標値	57%					58%	60%
	実績値	51.3%	50.8%	55.1%	57.9%	56.3%		

【指標③】「河川の状況」市民満足度

【目標】誰からも愛される河川

担当課: 道路維持課

【指標の説明】

	計画期間 前の数値	計画期間中の数値					25年度の 達成度	
評価を行う時期	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年	目標に 至らず	
	平成17年値	平成19年値	平成21年値	平成23年値	平成25年値	平成27年値		
評価数値	目標値	49%					51%	52%
	実績値	44.2%	44.9%	46.9%	50.1%	48.4%		

3 将来目標を実現するための事業

単位:千円

No.	各種事業	事業概要(主な具体的取組み)	事業費(実績)		事業費(計画)		計	担当課	事業区分	
			23年度	24年度	25年度	26年度				27年度
1	御油松並木公園整備事業	国の天然記念物御油のまつ並木と一体となった公園整備	192,137	145,626	65,624	78,858	104,200	586,445	公園緑地課	計画事業
2	スポーツ公園整備事業	運動公園として各種スポーツのできる公園の整備	201,446	163,122	153,532	127,893	154,180	800,173	公園緑地課	計画事業
3	公園長寿命化対策事業	公園施設の長寿命化計画の策定						0	公園緑地課	計画事業
4	豊川駅東土地区画整理地内公園整備事業	豊川駅東土地区画整理地内の公園整備		1,817	2,678	15,000		19,495	公園緑地課	計画事業
5	一宮東部地区公園(仮称)整備事業	一宮東部地区の公園整備						0	公園緑地課	計画事業
6	公園改修事業	都市公園の施設改修、遊具の取替	34,177	44,533	62,032	62,655	36,900	240,297	公園緑地課	計画事業
7	児童遊園等整備事業	児童遊園等の施設改修、設備の取替	5,876	6,545	7,610	15,900	11,900	47,831	公園緑地課	計画事業
8	赤塚山公園改築事業	老朽化に伴う赤塚山公園の水の広場と動物広場の再整備	8,655	72,432	86,417			167,504	公園緑地課	計画事業
9	豊川市平和公園(仮称)整備事業	豊川海軍工廠跡地内の公園整備			5,133	27,943		33,076	公園緑地課	計画事業
10	豊川西部土地区画整理地内公園整備事業	豊川西部土地区画整理地内の公園整備						0	公園緑地課	計画事業
11	サツキ公園改修事業	サツキ湯跡地の公園整備				2,000	32,000	34,000	公園緑地課	計画事業
12	人と緑のふれあい事業	民有地緑化・花苗木の配布・緑化イベント	653	11,176	9,337	10,615	10,615	42,396	公園緑地課	その他
13	県費補助緑化推進事業	桜トンネル等再生整備事業	5,959	20,196	15,969	13,569	2,275	57,968	道路維持課	計画事業
14	準用河川上谷下川河川整備事業	河川改良工事 延長L=1,086 m	23,134	24,219	16,136			63,489	道路維持課	計画事業
15	準用河川青木川河川整備事業	青木川の河川改修工事	5,761	13,426				19,187	道路維持課	計画事業
16	佐奈川河川環境施設整備事業	佐奈川河川敷を利用した散策路の整備	11,303					11,303	道路維持課	計画事業
17	県費補助緑化推進事業(河川)	佐奈川及び帯川の桜並木植え替え						0	道路維持課	計画事業
18	佐奈川散策路整備事業	佐奈川の散策路整備 施行延長L=800m			5,130	7,000		12,130	道路維持課	計画事業
計			489,101	503,092	424,468	359,563	359,070	2,135,294		

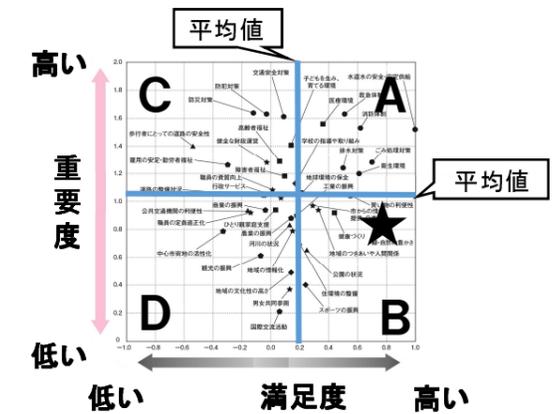
4 市民が感じている満足度・重要度

(平成25年度市民意識調査結果)

B ゾーン

〔満足度〕 平均値より高い  
〔重要度〕 平均値より低い

重要性の認識が低いものの、取り組みは満足されていると考えられ、今後も満足度の水準を下げることなく着実な取り組みが求められる。



5 将来目標が実現しているか(担当課による自己評価)

将来目標の達成度の評価	
目標指標の達成度の視点	<p>①「緑・自然の豊かさ」の市民満足度は80.1%と目標値を超えており、緑のまちづくりを推進する取組みが効果を上げていると評価する。(公園緑地課)</p> <p>②「公園の状況」の市民満足度が56.3%で、僅かに目標に届いていないが、計画期間前の数値より向上しており、緑のまちづくりの推進に効果を上げ、将来目標に近づいていると評価する。(公園緑地課)</p> <p>③「河川の状況」に対する市民満足度は目標に至っていないが、計画期間前の数値より向上しており、各河川整備事業は効果を挙げ、将来目標に近づいていると評価する。(道路維持課)</p>
事業の進捗状況や成果等の視点	<p>④御油松並木公園始め11公園の新規供用開始により、市民満足度の向上に繋がったと評価する。(公園緑地課)</p> <p>⑤公園・児童遊園の遊具の改修、便所のバリアフリー化、赤塚山公園の水の広場・アニアニマあるの改修など既存公園施設をリニューアルすることで、市民満足度の向上に繋がったと評価する。(公園緑地課)</p> <p>⑥人と緑のふれあい事業により、市民への民有地緑化補助金制度、公園での緑化イベント、公園で活動する緑化ボランティアへの花・苗木の配布事業を行ったことで、市民満足度の向上に繋がったと評価する。(公園緑地課)</p> <p>⑦街路樹の植え替えによる緑化推進事業は予定通りに実施し、緑の豊かさの市民満足度の向上に対して寄与したと評価する。(道路維持課)</p> <p>⑧河川整備による水辺沿いの緑豊かな自然に囲まれた歩行空間を設置したことにより、親水に寄与したと評価する。(道路維持課)</p>

将来目標を実現する上で課題と捉えている点

- ⑨豊川市は市民一人当たり公園面積が12.4㎡/人となっており、10㎡/人を越えている。全国的にも公園面積については満たされているが、ふるさと公園、赤塚山公園、手取山公園など全公園面積の半分以上は市街化調整区域に偏っており、市民にとって身近な公園が少ない。(公園緑地課)
  - ⑩公園は子どもが利用するだけのものだけでなく、グラウンドゴルフ、ゲートボールなど高齢者も公園を利用しており、幅広い人の利用に対応する必要がある。また、公園が災害時の避難地に指定されており、公園施設のバリアフリー化、施設の安全性など公園に求められるものが多様化している。(公園緑地課)
  - ⑪街路樹の植え替えによる緑化推進事業については、現在は、2路線で事業を進めているが、今後も、「緑・自然の豊かさ」の市民満足度をさらに向上させるために、他の路線への展開が課題となる。(道路維持課)
  - ⑫河川関連施設整備後の環境保全及び維持管理を円滑に行うため、地域住民による積極的関与を必要とする。(道路維持課)
- 上記課題解決のための方向性
- ⑬区画整理地区内の公園整備について進捗を図り、身近な公園を増加させる。(公園緑地課)
  - ⑭D1D地区内にて、公園・緑地等の再整備、老朽化した公園・緑地等の施設の改修、公園施設のバリアフリー化の促進など、既存の身近な公園施設の改修を進める。(公園緑地課)
  - ⑮今後も引き続き、人と緑のふれあい事業により、既存公園での緑化イベント、公園ボランティアへの花・苗木を支給することで、市民に緑の大切さや公園への愛着を感じてもらい、市民満足度の向上を図る。(公園緑地課)
  - ⑯今後も引き続き、人と緑のふれあい事業の民有地緑化補助金制度により、屋上緑化、壁面緑化、空地緑化等の事業を行なう市民等への補助を継続し、緑化への関心の高揚を図っていく。(公園緑地課)
  - ⑰街路樹の現状の把握につとめ、より効果的な植え替え事業が実施できるようにして事業進捗を図る。(道路維持課)
  - ⑱河川の環境保全及び維持管理を円滑に行うため、ワークショップ等により、地域住民と密に連携を図り、地域住民による積極的な運営ができる体制を育てる。(道路維持課)